

月例統計報告（令和2年10月）

令和2年10月30日
企画振興部

1 秋田県の人口 （秋田県の人口と世帯（月報）（令和2年10月1日現在））	1
本県の総人口は、952,005人（男 447,779人 女 504,226人）	
前月に比べ、837人（0.09%）減少	
自然増減 787人の減少（出生者 385人 死亡者 1,172人）	
社会増減 50人の減少（県内への転入者 772人 県外への転出者 822人）	
この1年間では、13,922人（1.44%）の減少	
2 秋田県経済の動き	
(1) 製造業の生産動向 （鉱工業生産指数月報（令和2年8月分））	2
秋田県鉱工業生産指数（平成27年=100）	
季節調整済指数 89.4 : 前月比 3.9%低下（2か月連続で低下）	
原指数 81.5 : 前年同月比 7.4%低下	
全国の鉱工業生産指数（平成27年=100）	
季節調整済指数 88.1 : 前月比 1.0%上昇	
(2) 雇用・労働情勢 （毎月勤労統計調査速報（令和2年8月分））	3
賃金、労働時間及び雇用の動き〔事業所規模5人以上〕 対前年比（前月比）は指数により算出	
現金給与総額 251,081円 : 前月比 14.6%減、前年同月比 4.3%増	
総実労働時間 139.8時間 : 前月比 7.1%減、前年同月比 4.0%減	
常用雇用指数 98.2（平成27年=100）	
: 前月比 2.3%減、前年同月比 3.8%減	
(3) 物価動向 （消費者物価指数（令和2年8月分））	4
秋田市消費者物価指数 102.2（平成27年=100）	
前月比 0.1%上昇、前年同月比 同水準	
全国の消費者物価指数 102.0（平成27年=100）	
前月比 0.1%下落、前年同月比 0.2%上昇	
(4) 景気動向 （景気動向指数（令和2年8月分））	5
先行指数 95.0 前月を0.5ポイント下回り、3か月ぶりに下降	
一致指数 69.5 前月を1.4ポイント下回り、6か月連続で下降	
遅行指数 90.4 前月を2.1ポイント下回り、2か月連続で下降	
3 景況ダイジェスト（県内・東北・全国）	6～7

1 秋田県の人口(「秋田県の人口と世帯(月報) (令和2年10月1日現在)」)

(1) 令和2年10月1日現在の県の総人口は 952,005人(男 447,779人 女 504,226人)

となり、前月に比べ 837人(0.09%)の減少となった。

自然増減 787人の減少(出生者 385人 死亡者 1,172人)

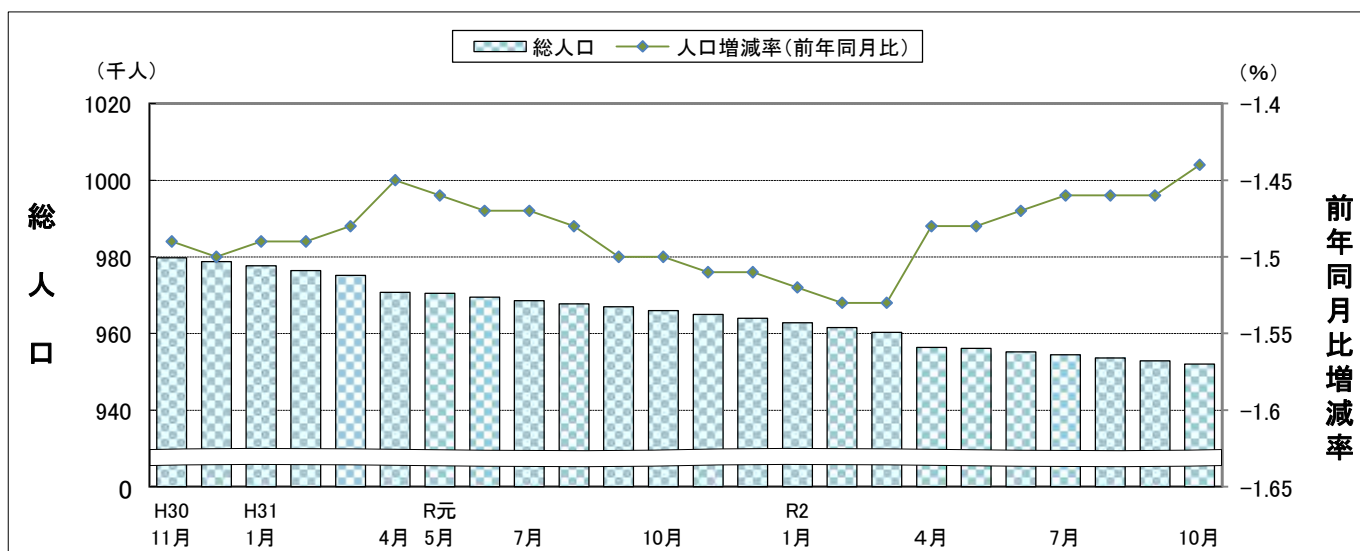
社会増減 50人の減少(県内への転入者 772人 県外への転出者 822人)

(2) この1年間では、13,922人(1.44%)の減少となった。

自然増減 11,012人の減少(出生者 4,508人 死亡者 15,520人)

社会増減 2,910人の減少(県内への転入者 11,899人 県外への転出者 14,809人)

(3) 世帯数は 389,951世帯となり、前月に比べ 25世帯の増加となった。



○自然増減と社会増減の推移

年月	自然増減			社会増減			人口増減 =自然増減 +社会増減
	出生 (人)	死亡 (人)	自然増減 (人)	転入 (人)	転出 (人)	社会増減 (人)	
R元(2019)年 9月	396	1,208	-812	787	1,012	-225	-1,037
" 10月	394	1,351	-957	780	818	-38	-995
" 11月	361	1,413	-1,052	769	713	56	-996
" 12月	353	1,401	-1,048	684	787	-103	-1,151
R2(2020)年 1月	380	1,529	-1,149	602	734	-132	-1,281
" 2月	331	1,235	-904	643	972	-329	-1,233
" 3月	363	1,336	-973	2,493	5,445	-2,952	-3,925
" 4月	396	1,264	-868	2,106	1,491	615	-253
" 5月	343	1,220	-877	648	653	-5	-882
" 6月	405	1,159	-754	712	744	-32	-786
" 7月	420	1,237	-817	848	874	-26	-843
" 8月	377	1,203	-826	842	756	86	-740
" 9月	385	1,172	-787	772	822	-50	-837
直近1年間の累計 (R元. 10~R2. 9)	4,508	15,520	-11,012	11,899	14,809	-2,910	-13,922

(参考)

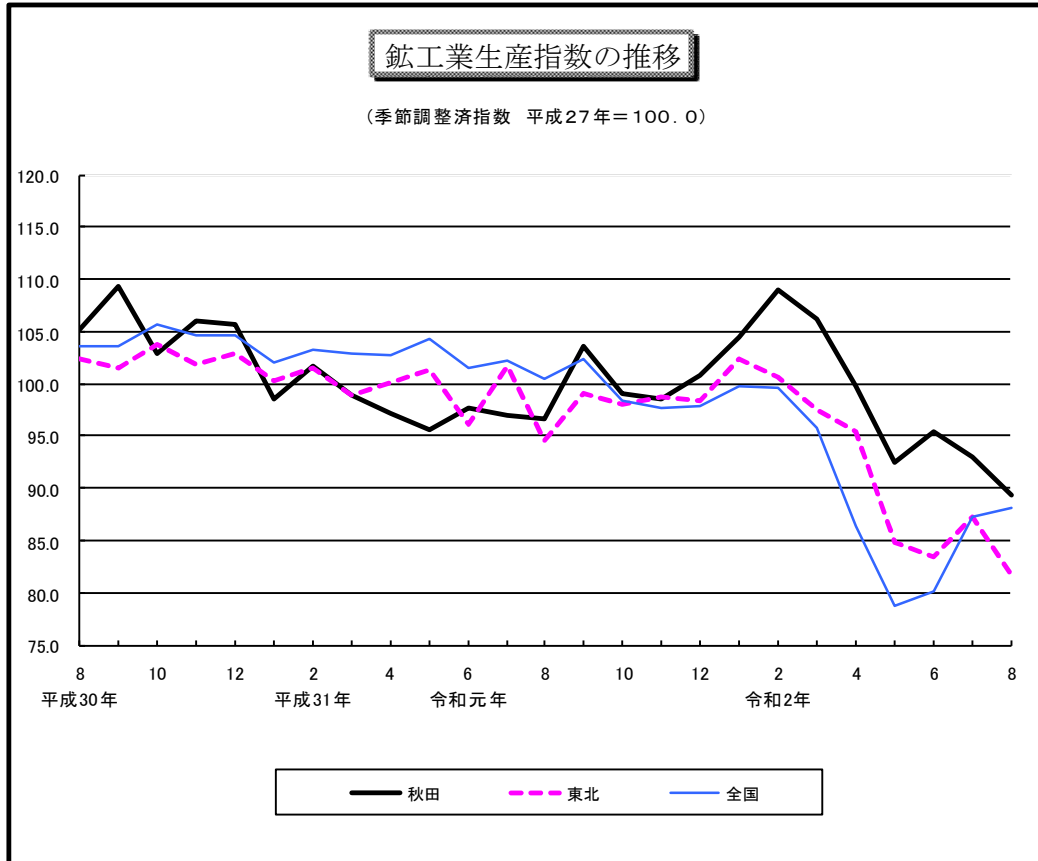
H30. 10~R元. 9の累計	4,863	15,703	-10,840	12,618	16,535	-3,917	-14,757
------------------	-------	--------	---------	--------	--------	--------	---------

2 秋田県経済の動き

(1) 製造業の生産動向(「秋田県鉱工業生産指数月報(令和2年8月分)」)

令和2年8月の秋田県鉱工業生産指数は、季節調整済指数が89.4(前月比3.9%減)となり、2か月連続で低下した。また、原指数は81.5となり、前年同月と比べ7.4%の低下となった。

なお、全国の季節調整済指数は88.1となり、前月比で1.0%の上昇となった。また、東北は81.7となり、前月比で6.4%の低下となった。



○主な増減要因(対前月)

業種名	指数値	前月比(%)	主な品目名
□上昇した主な業種			
生産用機械工業	72.8	▲ 20.5	その他の特殊産業用機械、産業用ロボット
金属製品工業	96.3	▲ 9.9	鉄骨、配管工事用附属品
□低下した主な業種			
食料品工業	195.9	▲ 11.2	冷凍調理食品
電子部品・デバイス工業	67.5	▲ 9.6	セラミックコンデンサ、モス型メモリ

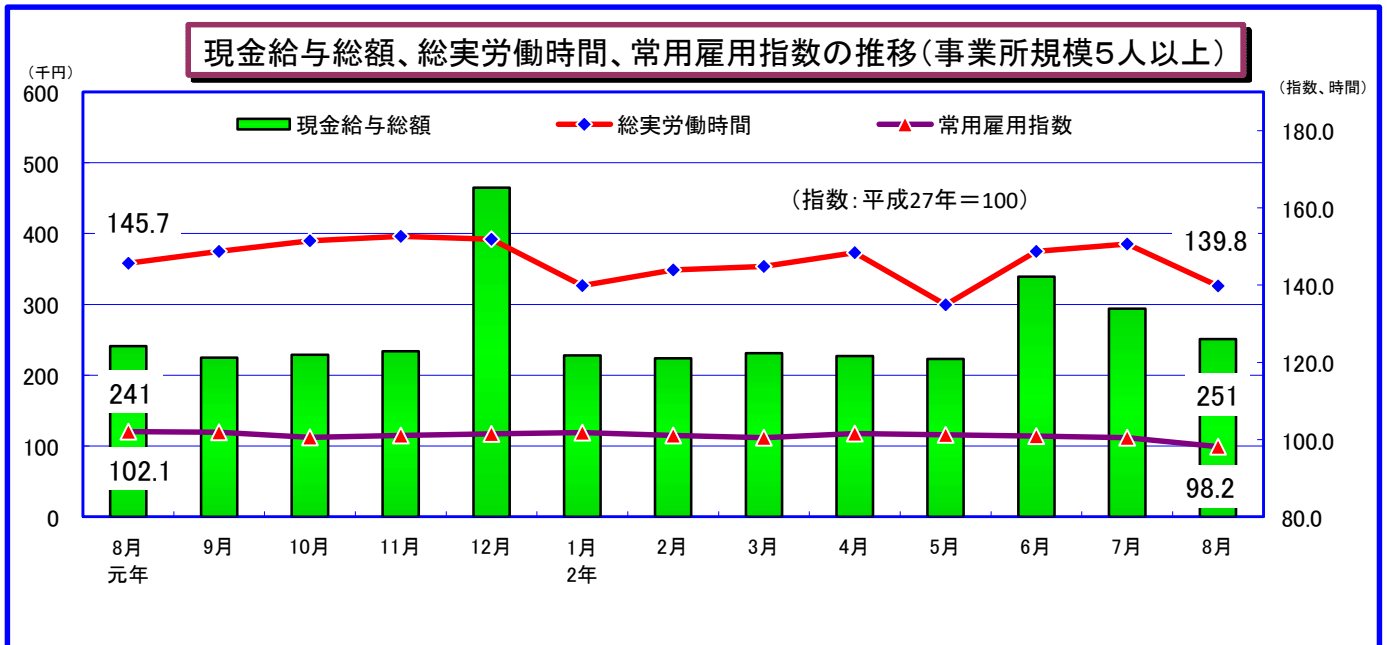
(2) 雇用・労働情勢(「毎月勤労統計調査地方調査結果速報(令和2年8月分)」)

(※賃金、労働時間及び雇用の動き〔事業所規模5人以上〕 対前年比(前月比)は指数により算出)

令和2年8月の現金給与総額は251,081円となり、前月比で14.6%の減、前年同月と比べ4.3%の増となった。

総実労働時間数は139.8時間となり、前月比で7.1%の減、前年同月と比べ4.0%の減となった。

常用雇用指数は98.2となり、前月比で2.3%の減、前年同月と比べ3.8%の減となった。



○産業別動向(事業所規模 5人以上)

1 現金給与総額

増加した主な産業	金額(円)	前年比(%)
生活関連サービス業、娯楽業	213,240	34.1
教育、学習支援業	331,619	24.6
建設業	406,737	19.6
減少した主な産業	金額(円)	前年比(%)
学術研究、専門・技術サービス業	286,184	▲ 17.2
複合サービス事業	278,911	▲ 7.3

2 総実労働時間

増加した主な産業	時間	前年比(%)
情報通信業	163.2	20.5
教育、学習支援業	110.9	15.3
減少した主な産業	時間	前年比(%)
宿泊業、飲食サービス業	115.0	▲ 14.1
製造業	138.4	▲ 11.1
建設業	145.1	▲ 6.4

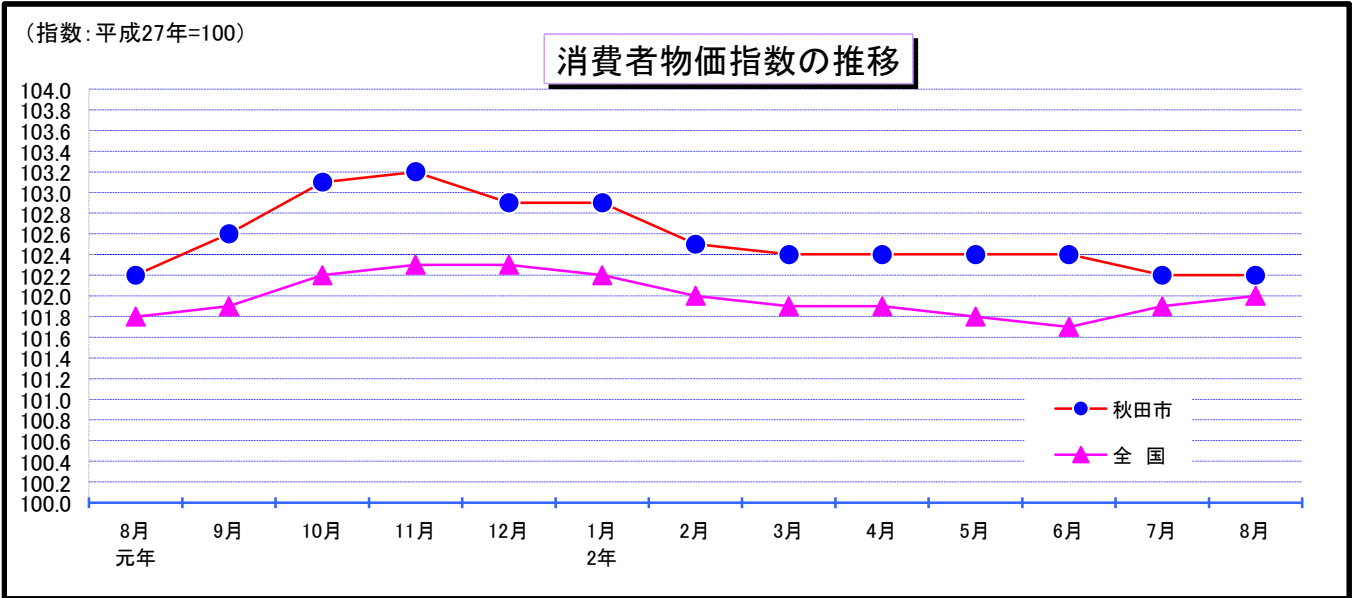
3 常用雇用指数

増加した主な産業	指数	前年比(%)
教育、学習支援業	99.5	5.1
減少した主な産業	指数	前年比(%)
製造業	92.1	▲ 15.9
学術研究、専門・技術サービス業	94.1	▲ 8.6
生活関連サービス業、娯楽業	122.1	▲ 5.5

(3) 物価動向(「消費者物価指数(令和2年8月分)」)

令和2年8月の秋田市消費者物価指数は102.2(平成27年=100)となり、前月比で0.1%の上昇、前年同月と同水準となった。

なお、全国の消費者物価指数は102.0となり、前月比(季節調整値)で0.1%の下落、前年同月比で0.2%の上昇となった。



10大費目指数の動き(平成27年=100):秋田市

	総合	食料			住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費			
		生鮮食品を除く総合	生鮮食品及びエネルギーを除く総合	食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合										生鮮食品	生鮮食品を除く食料	
当月指数	102.2	101.7	101.9	100.7	107.3	113.3	105.9	101.2	99.8	99.1	101.6	105.2	99.1	100.6	101.7	96.4
前月比(%)	0.1	-0.2	-0.4	-0.5	0.8	4.8	-0.1	0.0	0.3	-0.3	-1.0	-0.1	0.7	0.0	-2.4	-0.3
前年同月比(%)	0.0	-0.7	-0.1	-0.3	2.7	14.0	0.4	1.4	-3.2	1.7	0.4	0.8	-0.7	-8.5	-2.7	-5.8

〔上昇〕

10大費目	中分類	前年同月比	寄与度
食料	生鮮野菜	23.7	0.50
住居	設備修繕・維持	8.0	0.23
家具・家事用品	寝具類	12.6	0.02

〔下落〕

10大費目	中分類	前年同月比	寄与度
諸雑費	他の諸経費	▲16.0	▲0.39
光熱・水道	他の光熱	▲15.5	▲0.25
教養娯楽	教育娯楽サービス	▲5.2	▲0.30

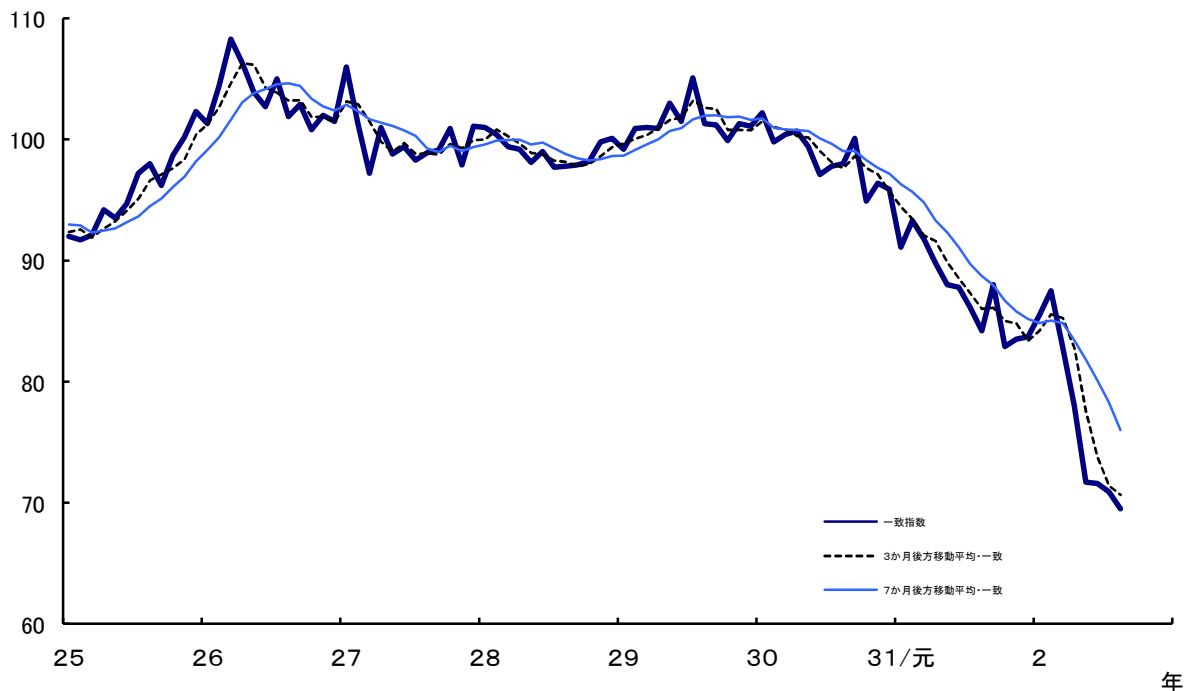
※寄与度とは、その費目が総合指数の変化率のうち何ポイント寄与したかを示すものである。

(4) 景気動向 (「秋田県景気動向指数(令和2年8月分)」)

先行指数 95.0 前月を0.5ポイント下回り、3か月ぶりに下降した。
 一致指数 69.5 前月を1.4ポイント下回り、6か月連続で下降した。
 遅行指数 90.4 前月を2.1ポイント下回り、2か月連続で下降した。

一致指数のグラフ

(平成27年=100)



○一致指数採用指標の前月比較

指 標 名	前月	今月	対前月増減	寄与度
有効求人倍率(倍)	1.25	1.23	-0.02	-0.41
雇用保険受給者実人員(逆)(%)	12.2	14.5	2.30	-0.24
所定外労働時間指数(27年=100)	88.1	90.9	3.18%	0.37
鉱工業生産指数(27年=100)	93.0	89.4	-3.87%	-0.64
生産財生産指数(27年=100)	83.4	78.5	-5.88%	-0.81
百貨店・スーパー販売額(%)	-1.6	-5.6	-4.00	-0.51
投資財生産指数(27年=100)	87.8	90.7	3.30%	0.27
建築着工床面積(千㎡)	58	73	25.86%	0.54
CI 一致指数(全体値)	70.9	69.5	-1.4	

景況ダイジェスト（令和2年10月）

対象	資料名 公表機関 対象期間等 公表日	内 容																																																																					
県 内	県内金融経済概況 日本銀行秋田支店 令和2年10月19日公表	<p>〔概況〕 県内景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状態にあるものの、持ち直しの動きがみられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・需要面をみると、個人消費は、サービスを中心に大幅に減少したあと、持ち直しの動きがみられている。公共投資は、緩やかな増加基調にある。住宅投資は、弱い動きとなっている。設備投資は、弱い動きとなっている。 ・生産は、緩やかに持ち直している。 ・雇用・所得環境は、弱い動きとなっている。 ・消費者物価指数（生鮮食品を除く総合（秋田市））は、前年を下回った。 																																																																					
	県内経済動向調査結果 企業活性化・雇用対策本部 （産業政策課） 令和2年8月分 令和2年10月8日公表	<p>〔概況〕 県内経済は、個人消費については、持ち直しの動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響から、サービス業は低迷している。製造業は、全体として弱めの動きが続いている。</p> <p>製 造 業：一部で持ち直しの動きがみられるものの、木材・木製品などで落ち込みが続いており、全体としては弱めの動きが続いている。</p> <p>建 設 業：公共投資は2か月連続で前年同月を下回った。</p> <p>小 売 業：全体としては前年同月並みの水準となっている。</p> <p>サ-ビ-ス 業：新型コロナウイルス感染症の影響から、低迷している。</p> <p>〔全業種〕 D I 値を前月と比較すると、3か月前との業況比較は▲13.4から▲17.2、現在の資金繰りは▲19.1から▲22.3、3か月前の業況見通しは▲23.6から▲16.6となっている。</p>																																																																					
	あきた経済 一般財団法人秋田経済研究所 令和2年8月分 令和2年10月号	<p>〔概況〕 県内経済は、一部に持ち直しの動きが見られるが、全体として厳しい状況が続いている</p> <p>電子部品の生産は大幅に落ち込んでおり、機械金属、木材も低調に推移している。建設は、公共工事に減速感がみられるほか、住宅着工も弱い動きが続いている。個人消費は弱いながらも持ち直しの動きとなっている。雇用情勢は改善の動きが弱まっている。</p>																																																																					
	HOKUTO経済調査レポート 北都銀行 令和2年10月号	<p>〔県内経済概況〕 一部に持ち直しの動きが見られるものの、依然厳しい状況にある県内経済。</p> <p>最近の県内経済は、足元の公共投資は堅調な水準ながら増加傾向が一服しており、昨夏以降は住宅投資が減少傾向を辿っています。また、個人消費は自動車販売が引き続き減少しているものの、小売業主要業態の販売額は前年を上回っています。この間、総じてみれば生産活動は低調にとどまり、雇用情勢も改善の動きが鈍化しているなど、県内経済は一部に持ち直しの動きが見られるものの、依然厳しい状況にあります。</p>																																																																					
	秋田県内の雇用情勢 秋田労働局職業安定部 令和2年8月分 令和2年10月2日公表	<p>〔概況〕 令和2年8月の有効求人倍率（季節調整値）は1.23倍。前月を0.02ポイント下回る。（全国平均は1.04倍、前月を0.04ポイント下回る。）</p> <p>有効求人数（季節調整値）は前月に比べて2.3%増加、有効求職者数（同）は3.3%増加した。</p> <p>① 新規求人数は7,019人、前年同月比15.2%（1,259人）減少。同比16か月連続で減少した。</p> <p>② 有効求人数は20,155人、前年同月比13.4%（3,106人）減少。同比18か月連続で減少した。</p> <p>③ 新規求職者数は3,197人、前年同月比9.0%（316人）減少。同比11か月連続で減少した。</p> <p>④ 有効求職者数は15,850人、前年同月比1.9%（298人）増加。同比10か月ぶりで増加した。</p>																																																																					
	秋田県企業倒産状況 （株）東京商工リサーチ秋田支店 令和2年9月度 令和2年10月2日公表	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">（負債額1,000万円以上の企業倒産）</td> <td style="width: 20%;">倒産件数</td> <td style="width: 20%;">2件</td> <td style="width: 20%;">負債総額</td> <td style="width: 10%;">4,300万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>前年同月比</td> <td>▲ 50.00%</td> <td></td> <td>▲ 93.67%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>前年同月</td> <td>4件</td> <td></td> <td>6億8,000万円</td> </tr> </table> <p>倒産件数、負債総額は共に過去2番目に少ない低水準</p>	（負債額1,000万円以上の企業倒産）	倒産件数	2件	負債総額	4,300万円		前年同月比	▲ 50.00%		▲ 93.67%		前年同月	4件		6億8,000万円																																																						
	（負債額1,000万円以上の企業倒産）	倒産件数	2件	負債総額	4,300万円																																																																		
		前年同月比	▲ 50.00%		▲ 93.67%																																																																		
	前年同月	4件		6億8,000万円																																																																			
情報収集結果 秋田県中小企業団体中央会 令和2年9月分 令和2年10月13日公表	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="7">〔業界判断指数〕単位：%P</td> </tr> <tr> <td></td> <td>業界全体</td> <td>製造業</td> <td>非製造業</td> <td>売上高</td> <td colspan="2">収益状況</td> </tr> <tr> <td>8月分D I</td> <td>-60.0</td> <td>-75.0</td> <td>-50.0</td> <td>-55.0</td> <td colspan="2">-56.7</td> </tr> <tr> <td>9月分D I</td> <td>-66.7</td> <td>-91.7</td> <td>-50.0</td> <td>-65.0</td> <td colspan="2">-60.0</td> </tr> <tr> <td>比較増減</td> <td>-6.7</td> <td>-16.7</td> <td>0.0</td> <td>-10.0</td> <td colspan="2">-3.3</td> </tr> </table>	〔業界判断指数〕単位：%P								業界全体	製造業	非製造業	売上高	収益状況		8月分D I	-60.0	-75.0	-50.0	-55.0	-56.7		9月分D I	-66.7	-91.7	-50.0	-65.0	-60.0		比較増減	-6.7	-16.7	0.0	-10.0	-3.3																																				
〔業界判断指数〕単位：%P																																																																							
	業界全体	製造業	非製造業	売上高	収益状況																																																																		
8月分D I	-60.0	-75.0	-50.0	-55.0	-56.7																																																																		
9月分D I	-66.7	-91.7	-50.0	-65.0	-60.0																																																																		
比較増減	-6.7	-16.7	0.0	-10.0	-3.3																																																																		
秋田県内の公共工事動向 東日本建設業保証株式会社 秋田支店 令和2年9月分 令和2年10月19日公表	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="7">対前年度増減率 件数79件増加、請負金額40.2%増加 （金額単位：百万円）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>区分</td> <td colspan="2">令和元年9月</td> <td colspan="2">令和2年9月</td> <td>対前年度増減率（%）</td> </tr> <tr> <td>発注者</td> <td></td> <td>件数</td> <td>請負金額</td> <td>件数</td> <td>請負金額</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>国</td> <td>23</td> <td>2,466</td> <td>39</td> <td>4,373</td> <td>69.6 77.3</td> </tr> <tr> <td></td> <td>独立行政法人等</td> <td>1</td> <td>119</td> <td>3</td> <td>387</td> <td>200.0 223.6</td> </tr> <tr> <td></td> <td>県</td> <td>164</td> <td>8,541</td> <td>225</td> <td>9,952</td> <td>37.2 16.5</td> </tr> <tr> <td></td> <td>市町村</td> <td>112</td> <td>3,411</td> <td>114</td> <td>5,887</td> <td>1.8 72.6</td> </tr> <tr> <td></td> <td>地方公社</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>- -</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他※</td> <td>3</td> <td>159</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>-66.7 -96.7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合 計</td> <td>303</td> <td>14,699</td> <td>382</td> <td>20,605</td> <td>26.1 40.2</td> </tr> </table> <p>※「その他」発注者：国、独立行政法人等、地方公共団体を除く国土交通大臣が指定する指定公共工事発注者</p>	対前年度増減率 件数79件増加、請負金額40.2%増加 （金額単位：百万円）								区分	令和元年9月		令和2年9月		対前年度増減率（%）	発注者		件数	請負金額	件数	請負金額			国	23	2,466	39	4,373	69.6 77.3		独立行政法人等	1	119	3	387	200.0 223.6		県	164	8,541	225	9,952	37.2 16.5		市町村	112	3,411	114	5,887	1.8 72.6		地方公社	0	0	0	0	- -		その他※	3	159	1	5	-66.7 -96.7		合 計	303	14,699	382	20,605	26.1 40.2
対前年度増減率 件数79件増加、請負金額40.2%増加 （金額単位：百万円）																																																																							
	区分	令和元年9月		令和2年9月		対前年度増減率（%）																																																																	
発注者		件数	請負金額	件数	請負金額																																																																		
	国	23	2,466	39	4,373	69.6 77.3																																																																	
	独立行政法人等	1	119	3	387	200.0 223.6																																																																	
	県	164	8,541	225	9,952	37.2 16.5																																																																	
	市町村	112	3,411	114	5,887	1.8 72.6																																																																	
	地方公社	0	0	0	0	- -																																																																	
	その他※	3	159	1	5	-66.7 -96.7																																																																	
	合 計	303	14,699	382	20,605	26.1 40.2																																																																	

県内	県内経済情勢報告 財務省東北財務局 秋田財務事務所 令和2年8月4日公表	項目	内容						
		総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる。						
		個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、足下では緩やかに持ち直しつつある						
		生産活動	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる						
		雇用情勢	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている						
		設備投資	2年度は増加見込み						
		企業収益	2年度は減益見込み						
		企業の景況感	「下降」超幅拡大						
		住宅建設	前年を下回っている						
		公共事業	前年度を上回っている						
秋田県内全国企業短期経済観測調査結果 日本銀行秋田支店 2020年9月調査 令和2年10月1日公表	[業況判断D I]		2020年		2020年		2020年		
	単位：%ポイント		6月	9月	変化幅	12月(予測)	変化幅		
	全産業		-41	-32	9	-29	3		
	製造業		-41	-38	3	-21	17		
非製造業		-40	-28	12	-33	-5			
東北	管内の経済動向 東北経済産業局 令和2年8月分 令和2年10月13日公表	全体の動向：一部に持ち直しの動きがみられるものの、厳しい状況にある。 鉱工業生産：一進一退となっている 個人消費：持ち直している 住宅着工：弱まっている 公共投資：横ばいとなっている 設備投資：横ばいとなっている 雇用：弱い動きとなっている 企業倒産：低水準にあるが、このところ増加している							
		項目	内容						
		総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる。						
		個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、足下では緩やかに持ち直しつつある						
		生産活動	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる						
		雇用情勢	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている						
		設備投資	2年度は減少見込み						
		企業収益	2年度は減益見込み						
		企業の景況感	「下降」超幅が拡大						
		住宅建設	前年を下回っている						
公共事業	前年度を上回っている								
全国	月例経済報告 内閣府 令和2年10月 令和2年10月23日公表	景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる。 ・個人消費は、持ち直している。 ・設備投資は、弱い動きとなっている。 ・住宅建設は、弱含んでいる。 ・公共投資は、堅調に推移している。 ・輸出は、持ち直している。 輸入は、このところ弱含んでいる。 ・貿易・サービス収支は、おおむね均衡している。 ・生産は、持ち直しの動きがみられる。 ・企業収益は、感染症の影響により、大幅な減少が続いている。 企業の業況判断は、厳しさは残るものの、改善の動きがみられる。 ・倒産件数は、おおむね横ばいとなっている。 ・雇用情勢は、感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、雇用者数等の動きに底堅さもみられる。 ・国内企業物価は、このところ上昇テンポが鈍化している。 ・消費者物価は、横ばいとなっている。 先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、国内外の感染症の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。							
		企業短期経済観測調査結果 日本銀行調査統計局 令和2年9月調査分 令和2年10月1日公表	[業況判断D I]		〈大企業〉		〈中小企業〉		全規模合計
		単位：%ポイント		製造業		非製造業		全産業	
		2020 / 6月		-34	-17	-45	-26	-31	
		2020 / 9月		-27	-12	-44	-22	-28	
		変化幅		7	5	1	4	3	